



うすい



佐倉市臼井地区社会福祉協議会 発行者 左奈田雄一 編集 広報事業部

お年寄りに優しいまちづくりを ブロック別「住民福祉懇談会」開催



* 10月18日(土)第3ブロック*

先だって、ご近所の90歳に近いひとり暮らしのあるご婦人がひよっとこんなことを漏らされました。

「わたしたちは、具体的に何かをして欲しいと、言っているわけではありません。近所の人がお変わりありませんか、と一声かけてくれるだけで安心するのです」と。

これは私どもが「お年寄りに優しいまちづくり」を考えるうえでの基本になることだと思えます。

たしかにひとり暮らしの高齢者、高齢夫婦世帯などにあつては「災害」「火災」「事件事故」等の不安が常にあります。胸にひびいたそのような声のこともあつて、今年度



* 11月9日(日)第2ブロック*



は「住民福祉懇談会」のメインテーマを「高齢者の日常生活の課題と対策」ということに絞らせていただきました。

開催は地区で分けた3つのブロック毎に、自治会、町内会、小中学校、高齢者クラブ、子ども会育成会の方々、福祉委員が参加しました。そこでは多くの生の声をじかに聞くことができました。

たくさんのご意見の中で、高齢者を対象にした、災害、事件、事故等が発生したときの安否確認、親族への連絡、あるいは警察など関係機関への通報、などを実行する組織づくり、すなわち緊急時の安全網づくり(セーフティ・ネットワーク)が大事だという話が出ました。

一方、引きこもりを無くすため、高齢者クラブへの入会をすすめるなどの

ご意見もありました。
また、もろもろの事態には民生委員、自治会、町内会の方が連携して地区内のことを見守り、気配りしていただきたいという意見もありました。

いずれにしても、お年寄りの目線になることやネットワーク作りが大切だと思わずにはいられないのです。

(黄吉)

住民福祉懇談会 開催場所・対象地域

- * 10月18日(土) 第3ブロック 於：臼井公民館
(地区) ニッコー団地・野口会・稲荷台1~4丁目・アガテプレイス臼井駅前・ライズステーションがうすい
- * 11月9日(日) 第2ブロック 於：うすい荘
(地区) 臼井台・大名宿・臼井上宿・臼井中宿・臼井下宿・臼井新町ヒュームスクエア臼井
- * 11月30日(日) 第1ブロック 於：八幡台自治会館
(地区) 八幡台・臼井田

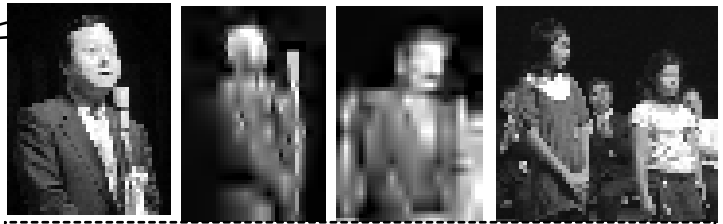
敬老会開催～劇場型から参加型へ

平成 20 年 9 月 19 日 (金)
佐倉市民音楽ホール

今年も敬老会(敬老のつどい～いままでありがとう、これからもお元気で)が開催されました(佐倉市委託事業 臼井地区社協実施)

今年、臼井地区社協の地域で 75 歳以上になられた方(対象者)は 943 名、当日は 311 名の方にご参加いただき、午前 10 時から式典が行われました

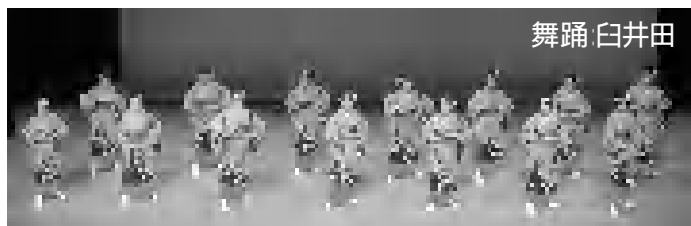
式典終了後は休憩を挟み、午前に 5 演目、昼食休憩のあと午後からは 6 演目が小・中学生、地元の方々によって行われました。今年とは新たな試みとして、招待者の方にもより楽しんでいただけるよう「参加型」の敬老会を企画、午前の部には「みんなで歌いましょう」午後の部には「からだを動かしましょう」という 2 つの演目を入れました



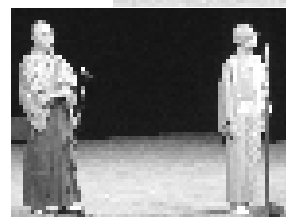
蕨市長 左奈田地区社協会長 小林市議会議長 子ども代表祝辞



来賓の方々



舞踊 臼井田



民謡 稲荷台 1 丁目



みんなで歌いましょう



コーラス 臼井小学校



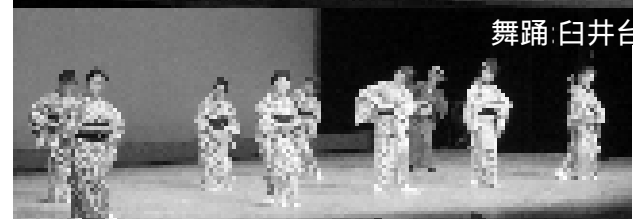
フラダンス ニッコー団地 野口会 稲荷台他



大正琴と合唱(招待者) 八幡台



寸劇 八幡台



舞踊 臼井田

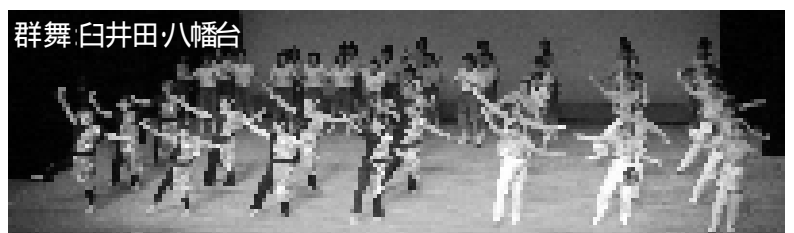


からだを動かしましょう

ブラスバンド 臼井西中学校



ロックソール 臼井西中学校



群舞 臼井田 八幡台

* 来年の敬老会は 10 月を予定しています

～ 20 年度の研修 ～

地域における新たな支え合い」とは



11月1日、福祉委員研修会が臼井公民館で開催されました
 講師に松山毅氏（順天堂大学講師）を招き、「地域における新たな支え合いを求めて～地区社協の役割」というテーマで講演をお願いしました
 その後、各グループに分かれて、ある事例を基に心配される問題点、そして福祉委員として何が出来るのか等について意見交換し、まとめた内容について発表し合い、現状認識や取り組み方のイメージを膨らませる研修を行いました

なお、講演の主な内容は

1. これからの福祉とは、公的福祉サービスの充実整備を図るとともに地域における身近な生活課題に対する新しい地域での支え合いをすすめるための「地域福祉のあり方」を考える必要がある。
2. 地域では、公的な福祉サービスだけでは対応出来ない生活課題、総合的に対応出来ない課題、地域の無理解から生じる課題等がある。これらは現在の制度では十分に対応出来ない。しかし解決が求められているものでもあり、新たな体制づくりが必要（行政と地域との協働）である。
3. 地区社協や福祉委員の存在意義については
 - (1) 地域には、気づくことが出来たり対応出来ることも多いが、ただ気づいただけでは援助にならない。声をかけたり専門機関につなげたり出来る人が福祉委員や民生委員である。
 - (2) 援助には「信頼関係」が不可欠であり、そのためには日頃からコミュニケーション意図的に図っておくことが重要であり、その方を「気にかける」ことが大切である。
 - (3) 福祉委員は「福祉」を切り口に、地域の生活課題の解決に関わる仕事であり、地域密着型の活動である。
 - (4) 福祉委員活動は、ボランティアかつ地域のための活動であるとともに自分自身にとって社会参加や社会貢献活動の機会として重要である。
4. 誰もが、頼ったり頼られたりしながら自分らし「暮らせる地域、そして「ここに暮らしている」という実感が持てるような関係性が築ける社会が安心、安全な地域社会である。

以上のような内容を、現行の行政システムや社協、地域のボランティア等の体制だけでは解決出来ない事例を取り上げながら、分かり易く話していただきました

これは社協や福祉委員だけの話ではなく、地域全体でも言える話だと思います。

- * 1人で抱え込まないで、みんなで支えていく「仲間づくり」が重要
- * 専門的な援助は専門家に任せながら「社会関係弱者」の視点から地域づくりを支え、つないでいくことが必要

地域を支える基盤は、日々の生活の中に、誰のそばにもあることを改めて感じた研修でした
（宝田）



臼井地区社協会長が 交代しました

平成20年7月、臼井地区社会福祉協議会の会長が、近藤熊吉から左奈田雄一へと交代いたしました。

会長就任のご挨拶



左奈田雄一

このたび、近藤前会長のあとを受けて臼井地区社会福祉協議会の会長を拝命しました。

社会福祉状況を考えますと現在は介護保険、医療制度、障害者自立支援法など問題は山積です。

地区社協としては多様化する福祉課題を探りながら、「みんなが安心して暮らせるまちづくり」のために貢献していきたいと思えます。

どうかみなさんからもいろんな意見、ご提言をいただきたいと思えます。

今後とも地域のみなさまのご理解とご支援をお願いいたします。



臼井西中学校ボランティア活動～赤い羽根募金～

11月4日(火)臼井西中1年生が、総合学習の一環としてボランティア活動「赤い羽根募金活動」をすることになったということで、臼井地区社協の福祉委員数名も立ち会うことになりました。

生徒たちは事前にアンケートをとった結果、施設訪問、御伊勢公園清掃、募金活動など5つの活動を行うことになりました。

その内の募金活動グループは、市社協との協議の結果、「赤い羽根」募金のボランティア活動を行うことになり、参加の21名は、事前に市社協より「赤い羽根」募金についての説明を受けました。

当日は、午前8時30分から4班に分かれ、臼井駅前で活動を行いました。生徒たちはそれぞれ手作りのプラカードを掲げ、大きな声で道行く人達に募金の呼びかけし、少しの休憩をはさみながら後半はジャスコ前でも活動を広げ、2時間超の間募金活動をしました。



募金に応じて下さった多くの人達は、皆さん励ましの声などを掛けて下さり、生徒達も大きな声で「ありがとうございました」とお礼を言うなど、微笑ましい光景があちらこちらで見受けられました。400本用意した「赤い羽根」も全部さばけ、募金箱の重さからも達成感と満足感で一杯のようでした。生徒達からも「やってよかった」「多くの方が協力してくれて嬉しかった」との声も聞かれました。

生徒たちは募金活動終了後には駅前のゴミ拾いもし、午前中目一杯のボランティア活動を行ったあと学校へ戻りました。

夕方には、担当の木村先生と生徒代表が募金で集まった53,358円を市社協に持参し、谷田部会長からもお礼とねぎらいの言葉を受け、一日のボランティア活動を終了しました。

今回は地元、臼井西中生徒によるボランティア活動ということで、本当に多くの方々に募金をして頂きました。生徒達も充実感にあふれた満足げな顔つきだったのが印象的でした。学校と地域がこうした活動を通して触れ合えることはとても素晴らしいことだと思います。募金活動に御協力頂いた多くの方々だけでなく、学校関係者の方々にも感謝申し上げます。(八田)



(上)振り込め詐欺・悪徳商法の手口説明

(下)お弁当の説明



いこい会

～ひとり暮らしの高齢者お食事会～

去る11月11日、ときどき薄日がこぼれ肌寒いくお天気の中、ひとり暮らし昼食会が開催されました。

今回のお弁当は秋の味覚が盛り込まれた手作りメニュー(ご飯・天ぷら・豚汁・新香・酢物・デザート)で、とても好評でした。

また、振り込め詐欺・悪徳商法の手口の説明を消費生活センター相談員の後藤さんにお願いました。約一時間、振り込め詐欺の実演も交えながら、どういったことに注意をしたら良いかなどのお話を伺いました。

その後はマジックや草笛、キーボードに合わせたの合唱など、どれも充実感に溢れ、ほのぼのとしたお話と余興で、総勢50名の会場は終始和やかな雰囲気でした。

閉会后、お客様(25名)のもてなしについて反省会を始めようとしたところへ、今日はご苦労様でしたと近隣の人からの気持ちに寄せられ、私どもの活動が支えられていることを身近に感じ、みんなで喜びあうこともできました。(近藤)

各地で100円喫茶サロン開催

20年度第5回6回7回目となる100円喫茶サロンが稲荷台1丁目町内会館・うすい荘・ニッコ会館で、いずれも午後1時30分から開催されました

稲荷台1丁目町内会館(10月4日)では、楽しい健康体操で軽く身体をほぐした後、前回好評だったアコーディオ演奏に合わせ、新しい歌集「秋の歌」を使って歌いました



* いこい荘 *

うすい荘(10月4日)のサロンでは恒例となった臼井のお話健康体操に加え、今回はキーボード演奏に合わせての合唱も行いました。初めて参加された方も結構いらして楽しいですね」という声もたくさん聞きました

また、途中で家族の方がお孫さんと一緒に迎えに来られたりと微笑ましい光景などもありました



* 稲荷台1丁目町内会館 *

ニッコ会館(11月26日)のサロンでは今回初めての試みとしてイエローレシートキャンペーンでいただいた菓子を袋詰めし、お見えになった方へおみやげとしてお渡ししました。また恒例の合唱は「秋の歌集」を使い、時間いっぱいまで皆さんで歌いました



* ニッコ会館 *

* 次回の100円喫茶サロンは2月25日(水)ニッコ会館、3月7日(土)稲荷台2丁目会館、うすい荘予定です。詳細は後日、回覧、ポスター、ホームページでお知らせします

イエローレシートキャンペーン贈呈式 10月26日(日)

ホームページや広報紙、展示パネルなどでたびたびご紹介していますがジャスコでは毎月11日に黄色いレシート発行しています。その黄色いレシートを地域のボランティア団体名が書かれた店内備え付けのBOXに投函していただくとレシートの払い上げ金額合計の1%金額分の商品がそれぞれの団体へ還元されます。

臼井地区社協では今回(3月~8月)4,445,947円分のレシートを投函頂いた結果、14,500円分の商品を受け取ることが出来ました

今回は前回同様「100円喫茶サロン」用の紙コップ歌集用の紙等を申請、新たな試みとしてサロンにお見えになった方へのおみやげ用に、お菓子と詰め合わせ用の袋もいただきましたご協力ありがとうございました

レシート発行は毎月11日ですが、ボックスはいつでも投函できるようになっていますお手元にイエローレシートがありましたらぜひ当日以外でもご投函下さい。今後ともよろしく願いたします。



臼井地区社協活動報告

~ その他の活動についてご報告します ~

赤い羽根共同募金 募金活動

佐倉市社協からの協力依頼で、10月2日(木)街頭募金協力を臼井駅とジャスコ臼井店店頭で行いました。

(実施: 共同募金会・市社協・臼井・王子台・臼井東地区社協)

午後6時から8時までの2時間で、21,629円のご寄付をいただきました。このお金は千葉県共同募金会を通じ、福祉活動に使わせていただきます。ありがとうございました。

臼井ふるさとにぎわいまつり参加

今年も臼井地区社協では、8月23日(土)に開催された「第13回臼井ふるさとにぎわい祭」に参加しました。

例年通り光るおもちゃの販売に加え、今年は新たにポップコーンの販売もしましたが、途中で機械が壊れるなどのアクシデントもあり、最終的には173個の売り上げになりました。光るおもちゃの方は相変わらずの人気があり、おかげさまで完売しました。大勢の方にお越し頂き、ありがとうございました。



赤い羽根共同募金



臼井ふるさとにぎわいまつり

おいもとビンゴで世代交流～親子いもほり会



児童福祉事業部会では、三世代交流事業の一環として平成 20 年 11 月 2 日 (日) 午前親子いもほり会を開催しました臼井田にお住まいの塚本様のご好意により耕作地のいもほり会場を提供いただきました

場所は、臼井田の遠部台という小字で、印旛沼を見渡す高台に位置しています。300 年前の江戸時代に臼井の景色がすばらしいところを 8 か所選んだ臼井八景には遠部落雁 (とおべらくがん) があります。このあたりの印旛沼に水鳥が舞い降りたのでしょう今

では、聖隷佐倉市民病院や江原台団地が隣接し、風車のあるふるさと広場が見下ろせます。

この親子いもほり会に、町会自治会等を通じて参加者を募集したところ、当日は 170 人も参加がありました東京からきたお孫さんと参加したおばあちゃんいつも仕事で忙しいお父さんと参加した女の子、お友達と参加したおばさん等、様々な方々が土に親しんでいました

当日は、曇り空でしたが会場に立てた臼井社協ののぼり旗も風でなびくことのない暑くも寒くも無く、心地よい、食欲の秋にふさわしい天候でした

掘り出し作業は、割り箸を目印にして畑を分けし、グループごとに行い、あちこちから「あったー」「大きいー」と喚声が聞こえてきました。用意した袋は、掘り出したサツマイモでいっぱいになりました

いもほりのあとはみんなで他所に集まってビンゴゲームを行いました。賞品の数は 21 個と少なめでしたが大いに盛り上がりしました。

いもほりとビンゴゲーム 家族やご近所の方との交流ができた一日でした (岡野)



*ご意見はうすいセンターへ

「うすいセンター」

(臼井・王子台 臼井東地区社協 合同事務所)

臼井地区社協担当日は

毎週月曜日 木曜日

開館時間 午前 9 時半～

午後 4 時半まで

(1 時～ 1 時は昼休憩です)

住所: 佐倉市王子台 1 2 3

レイクピアウス 3 階

電話: 0 4 74 6 7 4 3

メールアドレス

center-usui@catv296.ne.jp

ホームページ

http://www.catv296.ne.jp/

usui-syakyo/

* 編集後記*

毎年行われている敬老会の中で福祉委員はこんな活動をしています。

事前準備として、関係者による日程の調整、招待者の送迎バスの時間の打ち合わせ、小中学校と演奏についての打ち合わせ、また 75 歳以上の該当者今年 94 名(全員に記念品を配布するための袋詰めを行います。こうして袋詰めされた記念品は、町会担当の方に取りに来ていただき一軒々渡していただいています。

前日は、理事が町会このホール内の席の配置、式典の席順、ホールにおける町内会表示各種受付の設置をすませます。

そして迎えた敬老会当日には、迎えるバス運行に始まり、福祉委員がそれぞれの担当部所に分かれ、招待者への弁当の配布や席への案内、来賓受付などを行います。その後は式典として各種演奏、演奏等の進行、会場での介助のために終了時間まで動いています。

参加された方に言っていただけるところ、こうした準備の苦勞も吹き飛びます。来年もぜひお友達をお誘いの上参加して頂きたいと思えます。またご意見などがありましたら、ぜひお寄せ下さい。

敬老会終了後、一回で会場の片付けをし、全て終わった時、時計の針は 4 時を指していました。自分なりに充足感に満たされ、私は帰途につきました。(む)